



村田 信之

村田議員の動画はこちら



質問項目

- ・食育について
- ・人材育成について
- ・ACPについて
- ・ラグビーワールドカップ次回日本開催について

給食における「おいしい」とは何か

栄養と安全性を前提としたおいしさ

議員 釜石には海、漁業、生産者、料理人という豊かな食の現場がある。これらを「生きた教材」としてつ

なぎ、学校、給食センター、一次産業、飲食店が連携する釜石ならではの食育が重要だと考えるが、市の認識を伺う。

給食センター所長 給食におけるおいしきとは、栄養バランスと安全性を前提に、成長段階に応じて安心して継続的に食べられることである。嗜好との調整は今後の課題である。

市長 人材育成は行政運営の基盤であり、計画的な研修や学びあいの取組を進めている。職員が主体的に学び、考え、行動することが、住民福祉の向上につながる

と認識している。今後は官民連携も含め、学びを実践につなげ、地域課題に対応できる人材を育てる仕組みづくりが課題である。

議員 2019年大会で釜石は世界に強い印象を残

人材育成と大会誘致

議員 人材育成を業務効率化にとどめず、まちの総合力を高める戦略として位置付ける考えを伺う。また、

関係主体を横断的につなぐ仕組みは十分とは言えず、今後は既存計画の枠組みの中で連携を深める必要がある

した。そのレガシーを一過性のものとせず、次世代や地域づくりにつなげていく視点が重要である。2035年大会に対し、釜石市はどのような意義を見いだし、どの段階で判断していくのか伺う。

市民生活部長 大会招致は交流人口の拡大や郷土愛の醸成など、大きな価値を持つ取組である。特に子どもたちに夢や希望を与える効果は大きい。一方で、財源の確保や受入体制の整備、市民的合意が課題だ。国や県、日本協会の動向を注視しつつ、市民や関係者の声を踏まえて検討していく段階と考える。



2019年RWC、釜石鵜住居復興スタジアムにて